

『授業連携報告書』

学校名 三重県四日市市立富洲原小学校

授業のテーマ

JAXAの活動について知り、人工衛星・地球観測を学ぶ。プログラミングに触れ、基本理解を図る。

目標(授業連携をした目的等)

プログラミングに触れるきっかけを作り今後の授業に活用する。

実施対象	学年	小6	2	クラス	合計	59	名
授業科目	総合学習		科目「その他」の場合記入)				
単元	プログラミング		授業日	10	月	15	日

授業連携の前後の授業内容について

前	パソコンの基本操作について学ぶ。		
後	スクラッチを使って、人工衛星を飛ばすプログラミングを行う。		
時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 45 分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の内容の確認 JAXAの紹介・人工衛星等の説明 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を把握するために話をしっかり聞いていた。 質問に挙手をして答えた。 JAXAの活動や人工衛星について、疑問や興味が増した児童が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を確認するとともに、JAXAの活動や宇宙についてしっかり話を聞くよう伝えた。
展開 40 分	<ul style="list-style-type: none"> スクラッチを使って、基本の使い方を知る。 スクラッチを使って、人工衛星のプログラミングを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとり、スクラッチを使って、基本の操作を学び、ブロックを組み合わせて操作していた。 初めてプログラミングを行った児童は、自分がプログラムした通りスクラッチキャラが動き、楽しんでいった。 プログラムした通り、人工衛星を動かすことができ、喜ぶ姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン操作で戸惑っている児童を個別に周り、支援した。 発表場面は発表者を指名するなど進行をした。
まとめ 5 分	<ul style="list-style-type: none"> プログラミングとは何かについてまとめの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中でも、プログラミングの考え方は活用できるということを知った。 	<ul style="list-style-type: none"> 最後のまとめとお礼で授業を終えた。

授業連携の感想・メモ

導入では、プログラミングが生活の身近なところ(スマートフォンやカーナビゲーションシステム)や人工衛星などに使用されていることを理解できたため、その後のプログラミングの活動に意欲的に取り組むことができた。また、プログラミング操作においては初めて取り組んだこともあり、基本的な操作から少し発展的な操作まで幅広く指導していただいた。今後、プログラミング教育を継続的に指導していく上で、良い機会になった。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
スクラッチに大変興味を持ち、意欲的に楽しみながら取り組む姿が見られた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	